

平成18年度アマノリ養殖概況

横手孝英

漁期前から入手不足が心配されていた九州委託採苗網については、今漁期は確保することができたものの10月中旬から11月上旬にかけて水温降下が鈍く、栄養塩もこの時期としては異例の低さだった。その後も高めの水温で推移したことなどから、11月下旬から始まった本養殖でも生長が悪く、1回目の共販入札会が中止となる厳しいスタートとなった。12月以降は海況の好転とともに順調に生産が進ん

だ。しかしながら、2月に入り少ない降水量に加え、特に那賀川河口周辺漁場では珪藻類の増殖が顕著だったことから、色落ち被害が発生した。

図1に平成18年度、17年度の月別徳島県漁連共販枚数を示した。図2に年度別共販枚数と平均単価の推移を示した。

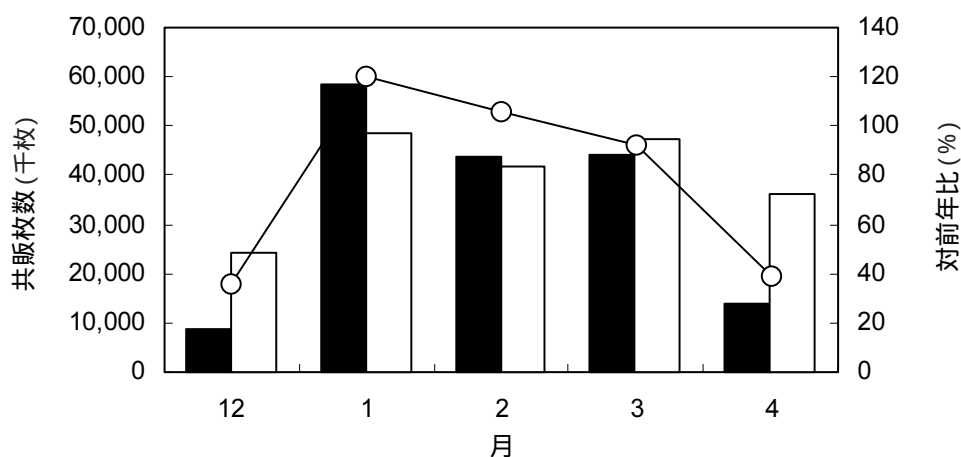


図1 月別共販枚数の推移。■，平成18年度；□，平成17年度；○，対前年比

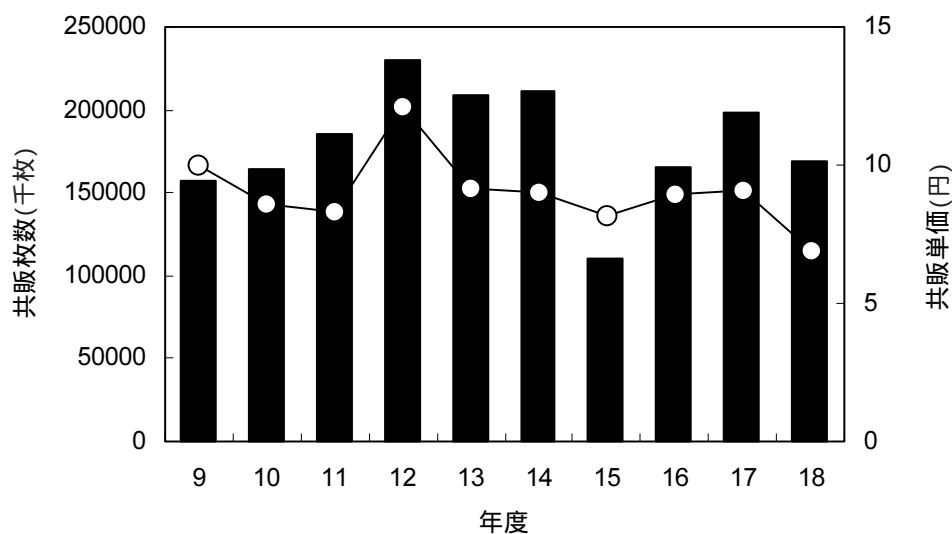


図2 年度別共販枚数と平均単価の推移。■，共販枚数；○，共販単価